

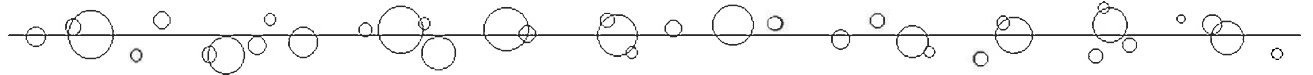
ナースだより

静岡市 こども園課
TEL 054-354-2655

2019年 6月号

暑い日が多くなり、本格的な夏が近づいてきました。プール開きが楽しみです。

今月は、三大夏風邪（ヘルパンギーナ、手足口病、プール熱）と流行性角結膜炎についてお知らせします。



ヘルパンギーナ

症状

39℃前後の高熱、のどの痛み
のどの奥に発疹ができる



登園のめやす

発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普通の食事がとれること

登園には

登園届の提出が必要です

手足口病

症状

発熱、口の中・手のひら・足の裏などに水疱ができる

登園のめやす

発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普通の食事がとれること

ウイルスは、便から2～4週間排泄されるので、おむつ交換のあとは手をしっかり洗いましょう

登園には

登園届の提出が必要です

プール熱(咽頭結膜熱)

症状

39℃以上の発熱、のどの腫れ・痛み、目の充血、目やに、涙など

登園のめやす

発熱、目の充血などの主な症状が消失した後2日経過していること

ウイルスは、便から1か月は排泄されるので、おむつ交換の後は手をしっかり洗いましょう

登園には

医師の許可(意見書)が必要です

流行性角結膜炎

症状

まぶたの腫れや異物感、目の充血・痛み、目やにで目が開けられなかったり、発熱を伴うことがある

登園のめやす

症状が消失していること

登園には

医師の許可(意見書)が必要です



子どもの調子が悪いと感じたら、早めの治療・休養を！

子どもは抵抗力が弱いことから、体調を崩すと病気の進行が速くなることがあります。

子どもが体調を崩した時は、小さな体で体力を総動員して、細菌やウイルスと戦っています。

見た目は元気そうでも体の中はヘトヘトです。また、自分の状態を正確に保護者に伝えられません。

病気は薬だけでは良くなりません。おうちでゆっくり休養し、十分な水分と栄養、睡眠をとることが、回復への一番の近道です。

